

原種鶏における増体性遺伝子（CCKAR）の優良型への固定による肉用鶏天草大王の改良



図1 肉用鶏天草大王の生産の流れ

優良型へ固定したことにより、体重が増加！

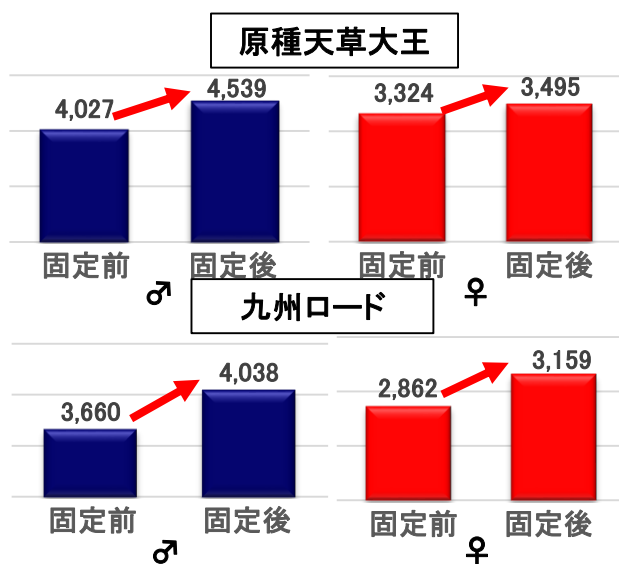


図2 原種鶏群の10か月齢時体重の推移(g)

問 研究のねらいは？

答 鶏の増体に関わるコレシストキニンA受容体（CCKAR）遺伝子は、A/A型が優良型とされ、A/C型およびC/C型と比べ、増体性が優れています。

そこで、当所で飼養する「種鶏場へのヒナ供給用原種鶏群（原種天草大王および九州ロード）」のCCKAR遺伝子を優良型に固定することにより、生産農場における肉用鶏天草大王の増体性向上に取り組みました。

問 研究の成果は？

- 答
- ① ヒナ供給用原種鶏群のCCKAR遺伝子を優良型に固定し、これにより10か月齢時の体重が、固定前と比べ増加しました。
 - ② これに伴い、種鶏場を通じて生産農場へ優良型の肉用鶏天草大王が供給されるようになりました。
 - ③ 今後、生産農場では、増体性の向上による売上増加が期待できます。

問 活用するうえで注意する点は？

答 改良効果を最大限に発揮するためには、適切な飼育環境や衛生対策の下、飼養することが重要です。